

久慈国家石油備蓄基地での平成29年度岩手県石油コンビナート等総合防災訓練の実施について

9月14日（木）、久慈事業所において、岩手県石油コンビナート等防災計画に基づき、岩手県主催による平成29年度総合防災訓練が行われました。

訓練は岩手県久慈市を中心とする非常に強い内陸型地震発生に伴い、陸上では『原油受け払い作業中に、ブースターポンプ室から火災が発生し、初期消火中の作業員1名が負傷した。』、また『地震の発生により隣接する原油抽出流量計設備の原油配管が破損して原油が流出し、可燃性ガスに着火、火災が発生するとともに、隣接タンクへの延焼が懸念される状態となった。』との想定で、海上では『地震発生により多点係留バースで原油荷役中の大型タンカーのフローティングホース接続部が破損して原油が流出するとともに、作業用オイルフェンスを越えて拡散した。』、また『タンカーでは火災が発生し、消火活動中の作業員1名が負傷した。』との想定で行い、防災関係諸機関（第二管区海上保安本部八戸海上保安部、東北地方整備局釜石港湾事務所久慈港出張所、東北管区警察局岩手県情報通信部、岩手県、岩手県警本部、久慈警察署、宮古警察署、久慈市、洋野町、野田村、久慈広域連合消防本部、久慈市消防団、岩手県沿岸排出油等防除協議会久慈地区部会、久慈地下水族科学館もぐらんぴあ、独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構久慈国家石油備蓄基地事務所及び当社久慈事業所、総勢約330名、訓練車両33台、訓練船舶22隻、防災ヘリ1機）と連携した、緊迫感のある訓練を実施しました。



現地指揮所設置訓練



負傷者救出・救助訓練



火災防御訓練（一斉放水）



航空偵察訓練（状況モニタリング）



船舶火災消火訓練



総合防災訓練閉会式